

「春を呼ぶ講演会」



主催 憲法九条を守るだて女性の会

「にもかかわらず

生きるということ」

～ 原発事故から3年 あらためてこの地でどう生きるか ～

講演 坂上 和子さん

NPO法人「病気の子ども支援ネット遊びのボランティア」理事長



難病の子どもたちのところ（病院）に出向き、ともに遊び、子どもの涙を笑顔に変えたいとの思いで活動している坂上和子さん。3.11以後、あんぽ柿の縁でこの伊達の地と福島に心を寄せてくださっている方です。

「…フランクルの『夜と霧』にしがみついて生きてきた…」との坂上さんの言葉から、あらためて生きるということを共に考えたいと思います。

著書：病気になってもいっぱい遊びたい（あけび書房）、病院で子どもが輝いた日（あけび書房）他

★春をはこぶ尺八によるオープニング…橋 梁盟 さん



日時 2014年3月16日（日）

午後 1時30分～3時30分



ところ 伊達市保原中央公民館
3階大会議室



資料代 300円

後援：伊達市・桑折町・国見町・川俣町・福島民報社、福島民友社

お問い合わせ

齋藤洋子(576-6271)、斉藤美知代(582-5315)、木戸雅子(585-5540)、齋藤房子(566-3643)